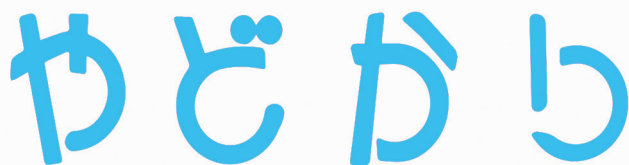


vol.50-01 (通算 562号)

2020年4月号

The logo for 'Yadokari' (やどかり) is written in a large, blue, rounded font. The characters are 'や', 'ど', 'か', 'り'.2020年4月15日発行
(毎月1回15日発行)1987年12月19日第三種郵便物認可
発行人 公益社団法人やどかりの里
代表者 土橋 敏孝

〒337-0043 さいたま市見沼区中川562

TEL 048-686-0494

FAX 048-747-7030

URL <https://www.yadokarinosato.org/>

定価 50円 (含会費)

2020年度やどかりの里活動方針

やどかりの里50周年の節目にあたって 歴史を学び 未来に生かす 地域の中で支え・支え合う活動を

I 私たちを取り巻く情勢

2020年度は、新型コロナウイルス感染問題の影響を大きく受けスタートする。感染の危険性をできる限り回避する対策をとりつつ、日常の活動を継続していく。

災害や今回のような感染症の広がり直面した時、障害者総合支援法の日額払いの報酬制度の問題が明らかになる。日額払いの報酬制度の下では、障害のある人の健康を守る対応が、事業所運営の危機に直結する。国は日額払いの報酬制度導入にあたって、障害のある人の選択の権利、競争原理の導入の必要性を上げた。実際には、障害福祉の世界を市場化し、職員の非常勤化、事業所の不安定経営を招くことになった。日額払いの報酬制度の見直しは必須である。新型コロナウイルス感染問題によるイベントや事業の自粛は、働く場での仕事にも影響が大きい。

また、障害分野で見過ごせないのは、津久井やまゆり園の障害者殺傷事件のその後であろう。横浜地裁での裁判が結審し、死刑判決が出された。しかし、なぜ被告が必要な

いのちと不要ないのちを選別する思想をもつことになったのか、解明されていない。この事件を特別な事件と片付けるわけにはいかない。いのちを選別する思想は被告に限ったものではないからだ。

3月初旬に報道された神戸市の精神科病院、神出病院での虐待・暴力事件で看護師等6人が逮捕された。鍵のかかった病棟の中で逃げることもできず、残虐な虐待・暴力を受け続けていた。ここにも精神科病院の抱える根本課題が露呈した。長年にわたる閉鎖的処遇によって、治療の場であるはずの医療機関での権利擁護の仕組みがまったく機能していない。こうした人間の尊厳を傷つける医療機関が存在し続けられる日本の精神科医療のあり方を根本的に見直す必要がある。

こうした社会の状況と向き合いながら、2020年度のやどかりの里の活動が始まる。

II やどかりの里の活動方針

50周年にあたり、やどかりの里を支えていただいた多くの人たちや関係機関の皆様へ感